

# 前回、調査研究活動の振り返り

	協議された主な事項(話題)
調査研究の報告	• 情報発信の不足について
	• 交通の問題(公共交通の不足)について
	• 住むところ・働くところの不足について
	• 分科会開催の提案について
基本計画-施策の体系-について	• 誰にもわかりやすいような表現(カタカナを多く使わないなど)について
	• 20年先の人口等、社会経済動向の変化について
	• 総花的な課題から向こう3年の行動指針となる計画策定について
	• 計画の見直し・KPI・定性的な評価・中間評価について

都市計画の問題 (全部やめてなく)

神言 → 用途転用をしたい 変えることはできず、場所がない 努力しているが伝えない

ハホ 若い人・農業団体の具体的問題 → どう計画に反映

交通計画との連携

田中 地域魅力化クラブの情報発信が不十分 どう情報で配信 (現状の把握) 知らせ方が難しい 情報が

スズ心 分校での学び・活動を卒業後 どう活かすか? 活かす場があるか? 個々の活動は起る → 統計のフォローは

大木 個人の実現したい夢が 能勢に居るの両立できるか 公共交通が不便

奥畑 最低限の生活が維持できる 縁故のない人でも情報か得られる(窓口)

東 スクールバス(幼・小・中)は整備されているが後のフォローがない 大手企業から問合せ 浜向バス動く

尾下 物流倉庫、戸建住戸・問合せ 物件があれば動く、弾力ない 交通の便 情報? 意識

神出 能勢の若い人の力 若い人達のコミュニティからの発信 能勢に住んで外に働きに行ける

野津 地域公共交通会議 テマノ交通 乗りバスを残そうと訴えるか 利用のつちがたい

山本 町報でアピールしていい web page だしてさらにアピール 来る人への支援

榎原 能勢分校 e-bike (3台) 高校生の考え方を 10台 変える

交通問題 = 自由活動の問題 外に出てきたら どう思いかわかる 関わりがアツクアツク

三浦 情報発信も目的を持って 継続するこの工夫 子供のスポーツと親の交流 の為の土地 確保

能勢の土地に維持が難しい 小工くらを解決? 実践がこれ

里山留学は広報に来てほしい

月予定表 12月に確定する  
→11月大綱をわす

月												13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
観光物産CICコボ												計画の基本認識									→20年で「超高齢化、4000人の →好転ほし →本当にシビアな将来予測 生活に必要な施設の									
健康 ~ 100才体保つこと												土地利用 ~ 放ったらかしの工地 →地主と連絡とれない 利用のための制度									集約 取捨選択・勇気 Negativeの現状 Positiveの将来									
観光案内のビジュアル化												歩道がガタガタ、自転車の走行位置の周知									個別施策 向う3年									
テーマの性格が明確に fixし、 理念更新 3年で更新 (直し)												課題共有 個別先は 出た →共通認識を築く									施策listの 脱脚									

行動予定表

氏名	行先	月	日	曜日	時間
全体共通テーマ	出1				①情報共有方法の追加 ②意識改革の支援 ③最低限度生活外出転環光
					別のテーマへの橋かけ 横の人のやっていること共有 良いい取組支援 能勢のことも知れるホ・タルサイト
					知ったことを発信